



道徳 三百六十五×十四回分の「ありがとう」

先日、「家族について考えよう」をテーマに、道徳の授業がありました。このお話は、生まれながらに心臓疾患を抱えた柳橋佐江子さん(14歳)が、回復への大きな望みをかけて挑む手術の直前に、母親宛てに書いた手紙が取り上げられています。そこには、母とのかけがえのない思い出や感謝の気持ち、そして生きることへの希望が書かれていました。

先生から「今日は家族に〇〇してくれてありがとうを伝えましょう。」という宿題が出されました。翌日のCOSMOSに書かれていたことを紹介します。

- ・いつも「アイス買ってきてくれてありがとう。」など、たくさんお礼を言っています。今日はお母さんの誕生日なので、その時に言えたらいいです。
- ・母に「ありがとう。」を伝えると、「はいはい。」と笑っていました。これからは、誰にでも素直でいたいです。
- ・今日「ありがとう。」を言いました。普段は自然と口に出ますが、それだけのためにしゃべったのは初めてで、「大丈夫？」と言われて、とても気まずかったです。でもいいことだと思うので、これからも感謝の気持ちを伝えたいです。
- ・帰るときに「え？何を言おう？」と思いながら帰りました。家で、「いつも陸上の試合で準備してくれてありがとう。」と言うと、「どういたしまして。」と返してくれました。
- ・今日帰って、「いつも働いてくれてありがとう。」と言うと、ニヤッと笑っていました。とても新鮮な気持ちになりました。
- ・今日、お母さんに「ありがとう。」を伝えたら、驚かれました。普段こういうことをしないので、言うときは恥ずかしかったです。家族にお礼を言う機会はなかなかないので、今日伝えられてよかったです。
- ・今日、学校から帰った時、僕より先に仕事から帰ってきていた母が、傘をさして帰りを待っていてくれました。大雨の中帰って来られるか心配していた母の気持ちが伝わってきました。僕は「いつも見守っていてくれてありがとう。」と感謝の気持ちを伝えると、母は笑顔で「おかえり。」と言ってくれて心が温かくなりました。
- ・今日は、母親に今までの思いを込めて「ありがとう。」と言いました。そしたら、今までたまっていたストレスがなくなったかのように、すっきりしました。
- ・今日、兄弟に「ありがとう。」を言いました。そしたら、「何言よん？」と言われました。
- ・僕は家に帰って、親にお礼を言ってみました。すると親は「生まれてきてくれてありがとう。」ということと、「生まれたときに黄だんで心配した。」という何度も聞いた話をしてくれました。
- ・塾に連れて行ってくれたお父さんに、「ありがとう。」と言うと、なんか反応が薄かったです。いつも言っているからかな？
- ・道徳の宿題のことを考えていたら、兄がクリアファイルをくれました。うれしすぎて、すぐに「ありがとう。」という言葉が自然と口に出ました。
- ・今日帰ってきてご飯を食べているときに、「いつもおいしいご飯を作ってくれてありがとう。」と言いました。そしたら母がびっくりした顔で、「どういたしまして。」と言ってくれました。普段はお礼なんて言わないので、恥ずかしかったです。
- ・僕はおかあさんに「毎日いろいろしてくれてありがとう。」と言いました。そしたらおかあさんは「どういたしまして。子供のことなら何でもするよ。」と言っていました。お母さんはすごいと思いました。
- ・「いつもご飯を作ってくれてありがとう。」と言いました。そしたら、「ありがとう。作る甲斐があるわ。」と言っていました。いつも感謝していることを本人に言わないので、少しびっくりしていました。

家族は自分にとって一番身近な存在なので、かえって「感謝の気持ちを伝えるのが恥ずかしい」、「言葉で伝えなくても分かるのでは？」と思いがちです。でも、いつも支えてくれる家族がいるからこそ、今のみんながあります。「ありがとう。」とても短いですが、心と心がつながるための大切な言葉だと思いませんか。

でも恥ずかしいな・・・と感じるあなた。自分の気持ちを伝える方法はたくさんあります。まずは、気持ちが相手に伝わる行動を考えてみてはどうでしょうか。